

日本史

I

解答

問 1. 1—③ 2—⑦ 3—⑧ 問 2. ④ 問 3. ③
問 4. ④ 問 5. ① 問 6. ① 問 7. ② 問 8. ④

解説

《弥生文化と小国の分立》

問 2. 弥生時代早期（縄文時代晩期）の地層から水田跡・炭化米などが出土しているのは、北九州にある板付遺跡や菜畑遺跡などである。

問 5. ②誤文。須恵器は古墳時代の遺物。③誤文。三内丸山遺跡は縄文時代の遺跡。④誤文。吉野ヶ里遺跡は弥生時代の環濠集落の代表例である。

問 7. ①誤文。『漢書』では楽浪となっている。③誤文。倭国王の帥升は『後漢書』に出てくる人名である。④誤文。『宋書』には倭の五王が朝貢したことが記されている。

問 8. 邪馬台国畿内説を有力とする奈良県桜井市の三輪山西麓にある巨大遺跡は、纏向遺跡である。

II

解答

問 1. 11—③ 12—⑧ 13—① 問 2. ④ 問 3. ①
問 4. ③ 問 5. ④ 問 6. ② 問 7. ④ 問 8. ③

解説

《院政と平氏政権》

問 3. ②誤文。延暦寺の強訴には悩まされたが、焼打ちはしていない。③誤文。平正盛は白河上皇の北面の武士に登用されている。④誤文。皇女の八条院に多くの荘園を相続させたのは鳥羽上皇である。

問 4. ①誤文。鳥羽天皇が譲位したのは崇徳天皇であり、後白河天皇は近衛天皇が没したことから即位している。②誤文。源頼朝は後白河上皇の没後に征夷大將軍に任じられている。④誤文。後白河天皇が編んだ今様を集成した書は『梁塵秘抄』である。

問 7. ④誤文。南都焼打ちを行ったのは平氏の平重衡である。

問 8. ③誤文。関東御領は平氏が都落ちし、朝廷に没収された平氏没官領などからなる源頼朝の荘園である。

III

解答

問 1. 21—⑨ 22—② 23—⑥ 問 2. ② 問 3. ①

問 4. ④ 問 5. ④ 問 6. ② 問 7. ④ 問 8. ④

解説

《江戸時代初期の外交と鎖国》

問 2. 糸割符制度はポルトガル商人の暴利をおさえるため、糸割符仲間を構成する特定商人が生糸を一括購入・販売する制度である。

問 4. ④誤文。禁教令は 1612 年に天領に出され、翌年には全国化されている。支倉常長らの慶長遣欧使節が帰国した 1620 年には、すでに禁教令が出されていた。

問 7. ④誤文。絵踏は 1629 年頃に長崎で始められている。島原の乱は 1637 年に起こり、翌年に鎮圧されている。

問 8. ①誤文。清との貿易は長崎でのみ行われた。②誤文。オランダ商館長は毎年江戸で将軍に謁見したが、朝貢ではない。③誤文。朝鮮との外交では、対馬の宗氏と朝鮮との間で己酉約条が結ばれていた。

IV

解答

問 1. 31—⑧ 32—② 33—⑥ 問 2. ① 問 3. ③

問 4. ① 問 5. ③ 問 6. ② 問 7. ① 問 8. ③

解説

《明治時代の文化》

問 2. ①誤文。神道指令は戦後に GHQ が日本政府に対して出したものである。廃仏毀釈運動は明治時代の神仏分離令に起因するものである。

問 3. ①誤文。帝国議会での政府と民党との対立は、日清戦争を機に緩和されていた。②誤文。三国干渉はロシアが主導し、フランス・ドイツが協力したことによる。④誤文。教育勅語は 1890 年に出されており、日露戦争後に思想を引き締めるために出されたのは戊申詔書である。

問 4. ①誤文。雑誌『国民之友』は徳富蘇峰らの民友社が出したものであり、三宅雪嶺らが結成した政教社の雑誌は『日本人』である。

問 8. ③誤文。島崎藤村の初期の詩集である『若菜集』はロマン主義文学、

散文への転機となった小説『破戒』は自然主義文学に分類されている。